

## 基盤教育科目の履修について

### 科目区分

宇都宮大学で開講している授業科目は、基盤教育科目と専門教育科目に区分されます。この冊子に記されている初期導入科目、リテラシー科目、教養科目、基盤キャリア教育科目、留学生日本語科目及び専門導入科目が、基盤教育科目です。

初期導入科目は、大学教育全体の導入として大学における適切な学習態度を形成することを目的とした授業科目です。特定の分野の学習をしていくことを意識したガイダンスも含め、学科・専攻等ごと所属学生のために「新入生セミナー」を開講します。

リテラシー科目は、現代の学生に求められる知識及び技能を修得するための授業科目です。国際コミュニケーション、健康、情報、それぞれのリテラシーに関わる内容の科目を開講しています。

教養科目は、幅広い教養と豊かな人間性を養うことを目的としており、多様な内容の授業科目を開講しています。これらを授業内容に応じて、人文科学系科目、社会科学系科目、自然科学系科目、健康科学系科目、初習外国語系科目及び総合系科目の6科目群に区分しています。

基盤キャリア教育科目は、社会的・職業的自立に向け、必要な知識、技能、態度を育成することを目的とした授業科目です。キャリア創造科目として開講される他、自由科目も基盤キャリア教育科目に位置付けています。

留学生日本語科目は、外国人留学生の日本語能力の養成を目的とした授業科目です。外国人留学生のみが履修できます。

専門導入科目は、専門教育を学習する上で基礎となる素養を身に付けるための授業科目です。学部ごとに、それぞれの教育目的にふさわしい内容の科目を開講します。

### 修得単位と履修

本学の教育課程を修了（卒業）するためには、各学部・学科等ごとに決められている基準に従って、科目区分ごとに必要な授業科目を履修し「単位」を修得しなければなりません。「単位」についての説明は、履修案内に記されているので参照してください。

修得しなければならない基盤教育科目の単位数は、すべての学部で34単位です。ただし、「単位」修得の仕方は、学部・学科等により異なりますので、所属する学部の履修案内をよく読んで履修科目を選択して下さい。

それぞれの授業科目は、学習の段階あるいは知識の程度に応じて履修しますが、基盤教育科目は、入学後早い時期に履修することを想定している科目です。履修計画を立てるにあたっては、この冊子に記されている授業科目の内容や授業時間表を活用して、無理のない効果的なものとなるように留意してください。

なお、各年次にわたって適切に授業科目を履修するために、一学期（前期または後期）に履修登録することができる単位数の上限を、基盤教育科目と専門教育科目を合わせて24単位としています。したがって前期、後期とも原則としてそれぞれ24単位を超えない範囲で履修登録をすることになりますので、計画的な履修計画を立てるようにしてください。また、単位数の上限を超えて履修登録できる場合もありますので、履修案内を参照してください。

## 初期導入科目の履修

初期導入教育科目として開講している「新入生セミナー」は必修科目です。1年次前期に学部・学科・専攻等指定の授業を履修してください。

## リテラシー科目の履修

リテラシー科目には、必修科目と選択科目があります。1年次の英語、「スポーツと健康」及び「情報処理基礎」は、必修科目として学部・学科等ごとに指定された曜日・時限に履修してください。さらに、英語は習熟度別にクラス分けされ、「スポーツと健康」は実施される種目の中から選択します。受講すべき授業科目については、所属する学部の履修案内「基盤教育科目の履修」と「授業時間表」を参照してください。英語においては選択科目も開講されています。これらは、3・4年次に英語学習を継続したい場合に履修することが出来る科目です。

## 教養科目の履修

教養科目については、学部・学科等ごとに、人文科学系、社会科学系、自然科学系、健康科学系、初習外国語系の科目群それぞれについて最低限修得しなければならない単位数を規定しています。この条件を満たすように履修計画を立てる必要があります。

## 基盤キャリア教育科目の履修

キャリア創造科目と自由科目を、選択科目として履修することが出来ます。

## 基盤教育選択科目の履修

以上の他に、科目区分によらず修得しなければならない単位数が定められています。各学部の履修案内に選択科目の単位数として記されていますので、リテラシー科目、教養科目及び基盤キャリア教育科目いずれかから、それぞれで定められている必要修得単位数に加え履修してください。

## 留学生日本語科目の履修

外国人留学生は、必修科目として1年次に「日本語ⅠA」、「日本語ⅠB」及び「日本語Ⅱ」を履修しなければなりません。その3単位分だけ、選択科目で履修しなければならない基盤教育科目の単位数は少なくなります。また、このほかの日本語科目及び「日本事情」も開講されており、外国人留学生は選択科目として履修することが可能です。

## 専門導入科目の履修

専門導入科目で履修すべき授業科目については、学部ごとに科目や単位数が規定されています。所属する学部の履修案内「基盤教育科目の履修」を参照してください。